

節分祭 二月二日 午後四時齋行

節分祭は宮中の年中行事でありました。この節分の鬼を払う悪霊ばらい行事は、平安時代頃から行われている「追儺」（ついな）から生じました。今日は、節分当日の夕暮れ、豆を撒き、柵の枝に鯛の頭を刺した焼嗅（やいかかし）を戸口に立るようになりました。これは、季節の変わり目には邪気（鬼）が生じると考えられており、それを追い払うためであります。

例年、福男・福女の募集をしておりますが、本年は感染拡大防止のため、祭典後の福撒きは中止し、神職のみの祭典奉仕とさせていただきます。但し、福豆の授与はいたします。

金王八幡宮社務所

